



椿油・馬油・オリーブ油
 肌に必要な油分を与え保湿ある健やかな肌に導く。

ティートリー油
 にきび、あせも等肌荒れを防ぎ、清潔な肌へ導く。

シソエキス
 肌をひきしめ肌を清潔に保つ。

ヨクイニンエキス
 肌の生まれ変わりをサポートする。

ムラサキ根エキス
 肌の柔軟性を保ちキメを整え保護する。

セリシン
 トラブルを起こしがちな肌に馴染みツヤを与える。



天然成分によるハンドメイド
 お肌のうるおいを保つ皮脂分はそのままになめらかな肌を整える天然自然のせっけんです。
 ○お肌に合わないときは、ご使用をおやめください。
 全成分：石けん素地・ツバキ油・オリーブ油・水・セリシン・馬油・シソエキス・ムラサキ根エキス・ヨクイニンエキス・ティーツリー葉油・BG・エタノール・海塩
 BG・エタノールは和漢植物の抽出する際の溶媒です。



しっとりした透明感のある
 素肌づくりへの究極の石鹸

自然油脂鹼化法は経験と手間がいります。石けんを作るときは、油脂が石けんになる声、表情、味など五感を使って作ります。我が子を育てる気持ちで丹精こめて作ってます。

「水を石けんに煮込んで作ってくれ」言われた時には驚きました。だって水と自然の油脂が乳化剤無しで混ざり合うはずおまへんやんか。ところが石けんの波動をあげる為に水の波動を与える必要がある。この水は2万個の鉱石を持つ電磁、電気エネルギーを物理作用により水に情報を記憶させ、水の分子を極小化しているの油のなかに溶け込むはずだと熱心に言われるので「そこまで言われるなら、失敗覚悟でやってみましょうか」とお引き受けした訳です。そこで、石けん一筋50年の工場長と私の二人がレンジ通りの分量の水と天然の材料だけで、日本古来の伝統製法、自然油脂化法と言われている製法で60年物の鹼化釜で油脂と水を熱だけで炊き上げましたんや。



通常石けんは約3時間で鹼化できます。しかし、やはりと言うか9時間たっても鹼化できません。夜10時位までがんばりましたが工場長と「やはりあかんかったな」と釜の火をとめてそのままにして帰ったんですわ。ところが翌朝、工場長が「鹼化」が起きていますと言ではありませんか。もう不思議で、びっくりして、しばらく鹼化していく過程を二人で見つめていました。それから熟成し枠に流し込み固める工程入りました。今まで、それこそ長年の経験の中においてもこんな現象というのはおきたこと無いから、これはどう考えても水が影響しているのしか思えんのですわ。出来上がった石けんを使うても肌のツツパリ感も無く作り手としては最高の出来やと思ってます。ぜひ試してください。

使用においての特徴

にきび・あせも等肌荒れを防ぎ、かつ保湿することでお肌の潤いを保ち、自ら創り出す天然の皮脂分はそのままに、天然石けんに仕上がりまし。